

なごや東山の森って？

名古屋市東部の東山公園と平和公園に広がる約400ヘクタールの大きな森。これが「なごや東山の森」です。この森は、ため池や湿地の他、畑や田んぼなど、里山風景が広がる、多くの生きものとの出会いが待つ豊かな森です。

この市街地に残された貴重な森を、将来に向けて守り育てていくため、市民・企業・行政が協働して、楽しみながら森づくりを進めています。



森の1年

この森の代表的な樹木であるコナラの1年を見てみましょう。コナラは高さ15~20m、大きいものでは30mにも達する落葉広葉樹です。

【夏のコナラ】

葉が青々と生い茂ります。幹には、カブトムシなどの昆虫が樹液を求めてやってきます。



森を歩くときのマナー

- 植物や生きものを大切に、勝手に採ったり持ち帰らないようにしましょう。
- 他から植物や生き物を持ち込まないようにしましょう。
- スズメバチやマムシがいることもあるので、十分に気を付けましょう。
- 自分のごみは責任をもって、持ち帰りましょう。
- ペットの散歩はリードをつけましょう。

こあらっちのもののしり手帖



抜け殻でセミを見分けられるかな？

木のまわりで、セミの抜け殻を発見したことはあるかな？よくみると形も大きさもいろいろ。どのセミが見分けてみよう！



クマゼミ

殻の大きさ3.5cm以上。淡褐色でつやあり。おへそでつばり。鳴き声はシャアシャア。



アブラゼミ

殻の大きさ3.5cm以上。濃い褐色。鳴き声はジージー。



ミンミンゼミ

殻の大きさ2.5~3cm。つやのない淡褐色。鳴き声はオーシンツツク。

ツクツクボウシ



ニイニイゼミ

殻の大きさ2cm弱。泥におおわれている。鳴き声はチージー。



ザリガニを見てみよう！

アメリカザリガニは、もともとはアメリカに生息していたザリガニで、昭和2年（1927年）に日本に持ち込まれて、北海道から沖縄にかけて日本各地に広がりました。今では里山で見られることもあります。

このようにもともと日本にはいなかった生き物を「外来生物」と呼んでいます。現在、日本に生息する外来生物の数はわかっているだけでも約2,000種にもなり、さまざまな問題を引き起こしています。



アメリカザリガニも、水生昆虫や水草などなんでもよく食べるので、まわりの生きものや植物に大きな被害を与えています。

東北地域と北海道には、ニホンザリガニがいるんだよ！